

シルバーくだまつ

星のさと

No.63

令和元年6月20日

編集発行 / 公益社団法人下松市シルバー人材センター広報委員会 下松市潮音町2丁目16-8 TEL (0833) 44-2600 印刷 / 富田印刷株式会社

公益社団法人 下松市シルバー人材センター
令和元年度 定時総会



議事
閉会のごとば



5月1日より平成から令和に改元されました

令和元年度 定時総会

令和元年度下松市シルバー人材センター定時総会が5月31日（金）10時から下松市勤労者総合福祉センターにおいて多数のご来賓をお迎えし、会員373人（含む委任状）出席のもと盛大に開催されました。

松浦理事の総合同会により、吉山理事の開会宣言・市民憲章唱和、松原理事長の挨拶に続き、ご来賓の中から代表して下松市長国井益雄様、山口県周南県民局長藤井義裕様、下松市議会議長中村隆征様の3名の方に、ご祝辞をいただきました。

議長には石田幸宣氏が選出され、村上事務局長が平成30年度事業報告、収支決算報告についての2議案を提案し、原案どおり承認決議されました。

また、議事に先立ち理事長より事業発展に貢献された永年在籍会員59人（30年在籍1人、20年在籍6人、15年在籍14人、10年在籍38人）に対して、表彰状並びに記念品が授与されました。

本日、令和元年度下松市シルバー人材センターの定時総会に、会員の皆様には、多数のご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

また、下松市長国井益雄様をはじめ、ご来賓の方々には、大変ご多忙のところご臨席を賜りまして、厚くお礼申し上げます。

政府の発表によりますと、昨今の景気の動向は、「一部に弱さも見られるものの、緩やかな回復基調が続いている」とのことでありますが、当センターの平成30年度の事業実績を平成29年度と比較してみますと、会員数は10名減少し、労働者派遣事業を含めた受注契

ごあいさつ



理事長
松原隆士

約金額は、約1400万円余りの減少となっております。

企業や一般家庭からの受注契約金額の減少、並びに会員につきましても、65歳までの継続雇用や、定年制の廃止等による入会者の減少や、会員の平均年齢がますます高齢化に進む中であって、まずまずの事業実績と思っております。

地域社会への貢献と、高齢者の生きがいづくりをめざして、昭和62年に設立されて以来、当センターは、比較的順調にその成果を上げてまいりましたが、これもひとえに下松市をはじめとする、関係諸機関のご指導、地元企

業、市民の皆様の温かいご理解・ご協力、さらには会員・役職員の皆様のたゆまないご尽力によるものと、深く感謝申し上げますのであります。

近年は、超高齢化社会が一段と加速化する中で、人口の減少に伴う人手不足の解消、地域社会の活性化、高齢者の生きがい対策など、シルバー人材センターの役割は、ますます重要となってきております。

こうした中、当センターの「第二次中期基本計画」は平成30年度をもって終了し、今年度を初年度として、向こう5年間の事業の指針となる、「第三次中期基本計画」を新たに

策定したところであります。

今後は、この中期基本計画に沿って、センターの効率的な運営、安全・適正就業の徹底に努めてまいりますとともに、会員・役職員が一体となって、課題であります会員の確保・拡大、就業機会の確保・拡大に努め、地域社会に信頼される団体として、地域の期待にこたえて参りたいと思っておりますので、関係各位の一層のお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

終わりに、会員の皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

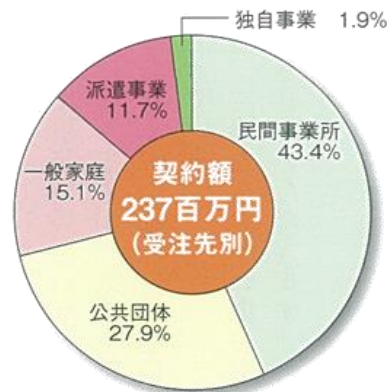
平成30年度 事業実績

我が国の経済は、昨年夏に相次いだ自然災害により、個人消費や輸出を中心に、一時的に経済が押し下げられたものの、国による各種政策の効果もあり、穏やかに回復してきています。

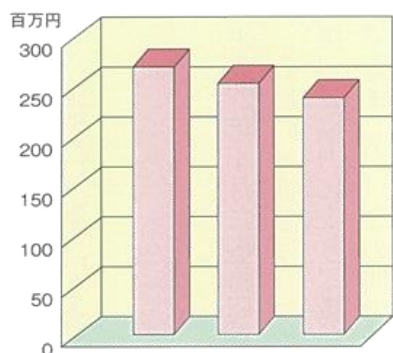
こうした中、当センターの平成30年度の事業実績（労働者派遣事業も含む）は、前年度に比べて受注件数・受注契約金額とも減となり、収支決算において約2万円の収益減となりました。

今後もシルバー事業の推進を図るため、会員・役職員が一丸となって、地域社会の信頼と期待に応えながら、就業機会の確保・拡大に努めることが必要となります。

受注先別契約金額の割合



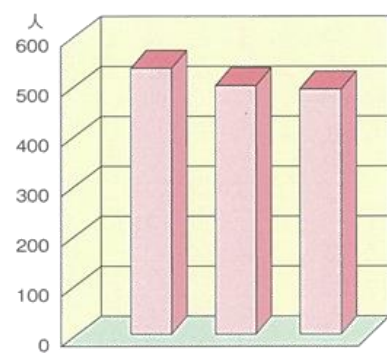
受注契約金額の推移



年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
契約金額	268	251	237

(単位：百万円)

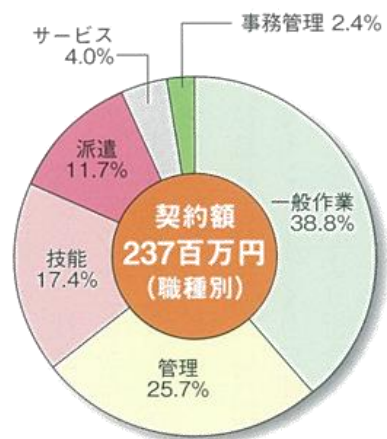
年度末会員数の推移



年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
会員数	532	498	488

(単位：人)

職種別契約金額の割合



受賞者名簿 (敬称略)

【理事長表彰】

30年在籍会員 (1人)

竹本 貞子

20年在籍会員 (6人)

若林 茂夫 田口 政則 小林 美樹子 大木 末子 伊藤 重昭 藤原 武人

15年在籍会員 (14人)

武居 春子 藤岡 孝子 原田 俊子 長家 重代 内山 正勝 多田 靖範
河野 致義 相本 清子 高橋 勇 中村 芳美 内富 秀雄 吉國 百合子
中村 良子 中村 奉文

10年在籍会員 (38人)

隅 正夫 相本 義昭 実近 隆 浜本 信也 今村 弘子 岩崎 弘子
平川 広子 築山 峰子 道下 義行 吉弘 洋子 古米 勝子 池田 明俊
長瀬 秀生 高橋 吉治 浅野 敏枝 中川 幸正 長村 スミコ 橋本 恵子
岡本 誠治 兼行 勝範 片山 和美 阿武 鉄夫 磯村 和世 中村 洋治
岩本 一義 山崎 勝弘 渡辺 賀世子 永末 正人 清水 憲一郎 田中 雅信
福田 須磨子 嘉本 勲 永島 悦枝 藤井 群次 設楽 健治 内山 秀百合
荻田 学 永廣 秀雄

新任あいさつ

新事務局長 村上孝司



このたび、村岡前事務局長の後任として事務局長に就任することになりました。どうぞよろしくお願ひします。

近年のシルバー人材センターを取り巻く環境は、少子高齢化に対応した国の諸政策等により経済の回復傾向はあるものの、高齢者の雇用延長などにより厳しい状況が続く中、下松市シルバー人材センターは、会員の皆様のためまぬご努力と関係各位のあたたかいご支援、ご協力によりまして着実な歩みが続けています。

地域に密着した仕事に就き、様々な社会活動に参加・貢献する組織としてシルバー人材センターの役割が、さらに増してきているこのような時期に事務局長という大役を引き受けることになりましたが、気持を新たにしていまして微力ではありますが職責を果たしていきたいと思います。

皆様方のご支援、ご協力をお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

退任あいさつ

前事務局長 村岡博徳

平成27年4月に事務局長に就任以来4年間、会員の皆様をはじめ役員の方々のご支援、ご協力により、職務を遂行することができました。この間の皆さま方のご厚情に対しまして、心よりお礼申しあげます。

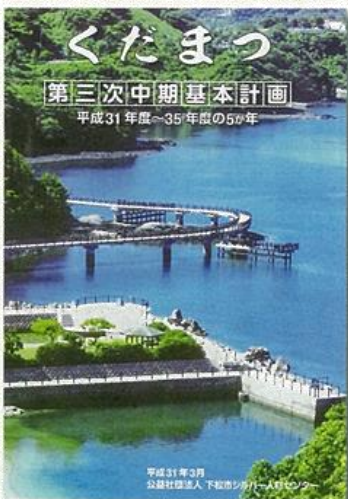
センターでの4年間は、会員主導型の事業運営という考えに基づいて業務に取り組んでまいりました。会員の皆様方とは、行事等を通じていろいろな機会の中で接することができ、貴重な経験を重ねることができましたことは、私にとりまして大きな財産となりました。

今後の社会は、高齢人口が増加する中、少子高齢化が一層進展してまいります。シルバー人材センターにとっては、現役世代の下支えや人手不足分野での労働力確保に貢献するというところで、社会からの期待が大きくなってきていることから、期待に応え積極的に事業運営を行うことが、可能な時代となっています。

会員・役職員の皆様が一層結束をされ、信頼されるセンターづくり健康で活躍されますことを、心より祈念申し上げます。退任のご挨拶とさせていただきます。

第三次中期基本計画

下松市シルバー人材センターでは、令和元年度を初年度に向こう5か年（令和5年度）の事業計画を策定いたしました。この計画は、これまでに策定いたしました「第一次中期基本計画」及び「第二次中期基本計画」の10年間の実績を踏まえ、今後の目指すべき方向性を示したものです。既に会員の皆様へは総会開催案内時に計画書を送りしておりますが、是非ご一読いただき、会員、役員そして職員が一丸となって計画目標の達成に向けて事業活動を展開していきましょう。



肺炎球菌ワクチンを
受けましょう

下松市健康増進課



保健師 矢吹

彩圭 あやか

肺炎になる人の約7割は、75歳以上の高齢者が占めています。また、肺炎は平成29年の日本の死亡原因の第5位になっています。

成人の肺炎の原因となる代表的な細菌は、肺炎球菌です。この菌は、主に気道の分泌物に含まれ、唾液などを通じて飛沫感染します。日本人の約3〜5%の高

齢者には鼻や喉の奥に菌が常在しているとされます。この菌が何らかのきっかけで進展することで、気管支炎、肺炎、敗血症などの重い合併症を起こす可能性があります。肺炎球菌による肺炎と重症化を防ぐために、肺炎球菌ワクチンを受けることが大切です。高齢者肺炎球菌ワクチンの接種費用の助成は平成26年度から始まりましたが、接種率は40%程度にとどまり、高いとは言えません。

健康百話



80歳代以上では肺炎による死亡率が急激に増加するので、ご自身の健康を守るために、肺炎球菌ワクチンの接種について医師に相談しましょう。

下松市では、国の方針に基づき令和元年度から令和5年度までの5年間その年度中に65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳または100歳になる方、さらに平成30年度末に100歳以上の方に対して肺炎球菌感染症に係る定期接種費用の一部補助をしています。ただし、これまでに肺炎球菌の予防接種（ニューモバックスNP）を接種したことのある方は接種の助成対象外です。

肺炎球菌感染症は一年間通じて発生するためワクチン接種とともに、日頃の予防が大切です。食事を食べる前、外出先から帰ってきた時は忘れずにうがいや手洗いをしましょう。そして、口の中を清潔にすることも大切です。

歯磨きや舌の手入れなどを行うことで、口の中の食べかすや細菌を減らすこととなり、肺炎の予防になります。ワクチン接種と日頃の予防をしっかりと行い、元気に過ごしましょう！



健診のご案内

がん検診

- ◎胃がん検診（隔年）
- ◎肺がん検診
- ◎大腸がん検診
- ◎子宮がん検診（隔年）
- ◎乳がん検診（隔年）
- ◎前立腺がん検診

特定健診・高齢者の健康診査

74歳までの方は、加入されている医療保険者から特定健診の案内が届きますのでご確認ください。（国保の方には、がん検診案内と一緒に受診券をお送りしています。）75歳以上の方は、5月中旬頃茶色の封筒で受診券が届いていきますのでご確認ください。

歯周疾患検診

今年度40・50・60・70歳の方は歯周疾患検診が無料で受診できます。

75歳の歯科健康診査

75歳になった方は、6月から翌年1月まで歯科健診が無料で受診できます。（緑色の受診券が届きます。）

問い合わせ先：下松市健康増進課

電話 41-1234



会員のひろば

(敬称略)



花岡7班

石田 幸宣 ゆきののぶ

(建物管理・軽作業)

入会して15年。現在は定期就労は無く、地域班班長とそば打ち同好会のお世話をしておりま

す。 思えば、入会して最初の仕事は、旧図書館の管理人で、警察官のような制服と、帽子を貸与され、2人の交代勤務で多くの方々との出会いがあり、よい体験でした。

その後、いろいろな業務を経験し、これが地域社会の実態を知る非常に良い、経験になりました。

さて、令和の時代に傘寿に近づくと我々に、居場所はあるのか 思案中です。いずれにしても気

力・体力と相談しながら、引き際を考える時期だと思えます。

役目から意見相談等、聞く機会はありませんが、積極的な入会希望は極めて少なく、その道のベテランの方々が高齢化で、退会され魅力なし、活気なしの会にならないか心配です。

さて、小生は30年間続けたボランティアを、終活を兼ねて整理・縮小・移管に入ります。でも直近の目標は韃靼蕎麦の手打ちで、令和スタートします。



久保1班

大木 末子

(家事援助班)

病院外回りの管理業務で就業しています。2人作業の所1人の会員さんが、長続きできず今は1人で、悪戦苦闘の日々です。 長い契約の間には諸事情が変ります。そのような時の対処を、センター職員に切にお願いしたいと思えます。

私は、入会20年になる古いタイプの会員です。

機能の低下や疲労の貯まりを感じる今日この頃です。

家事援助班総会の資料に、就業の心得及び安全就業の10ヶ条が綴じてありました。

就業している会員個人では出ないところを、センター職員が動いてこそ、全うされるのではないのでしょうか。



米川2班

兼政 茂

(米泉湖管理班)

定年退職後、ボランティア活動と共に、シルバー会員となり米泉湖管理班に所属しています。ダムは市街に近く桜等植えられ、公園として整備され、周辺は緑豊かな自然に恵まれ四季を通じて、風景を楽しむ観光客も多く、憩いの場となっています。

自然の美を守るため、管理班は除草・草刈・剪定・トイレ掃除等に励んでいます。

休憩時には、おやつと笑いの中疲れを癒し、『もう少し頑張るか』と腰を上げる。

作業終了後は全員集合、一日の反省・無事終了に感謝・明日も元気で会いましょうと交通安全に気をつけて家路に。



花岡3班

内山 タケ子

(家事援助班)

就業先で、ちよっぴり苦手な人がいた。先日血管年齢を測って頂く機会があり、私は年齢より若かった。皆が手をたたいてくれ、苦手な人も笑って手をたたいている。苦手意識は私だけ、私が変わればいいんだと気がついた。その後は普通に話せるようになった。

今、中高年の「ひきこもり」が多くなつてると言う。集まれば誰でも、うまくいくとは限らない。人は変えられないが、自分が変わらなければと言いかせ、今まで培った技等を生かし、人と繋がることも大事ではなからうかと思う。これからも、体に気を付けて、もう少し頑張ってみようと思えます。



平成30年度 会員研修会および親睦会

2月9日(土)「会員研修会及び親睦会」が、「ほしらんどくだまつ」で開催され、47名の方が参加されました。

理事長の「会員の増加と受注の課題」について挨拶され、研修会では下松市消費生活センターと下松警察署職員による「うそ電話詐欺被害防止」の寸劇が行われました。

犯罪者に扮して熱演する姿は、とても職員とは思えないほどのごみのある演技でした。

迫力満点で「いやあ、こりゃ

あ気をつけんにゃあ」とみなさんの感想でしたが、改めて「電話詐欺」の怖さを知らされ、身の引き締まる思いがしました。

寸劇の後、下松警察署の方から「自分は絶対大丈夫」と思っている人ほどだまされる」と話されたのが印象的でした。

ちなみに30年1月末までに市内で436件の消費者からの電話相談があったそうです。みなさん十分注意をしましょう。

後半は親睦会が開催され、今回は、人材センター内のいろいろな行事や職群班などの活動の様子や、画像を通して紹介され「こんな(職群班・独自事業・同好会等)のがあったのか」と初めて知った会員もおられたようです。

その後は、みなさんご自慢のカラオケが始まり、歌い終わる度に惜しみない拍手が送られていました。

そして、「ボケない小唄」を全員で歌い、最後はおたのしみの抽選会が行われました。特選A・特選B・参加賞に、あまり隔たりない賞にみなさん満足され会場を後にされました。

令和元年度 安全・適正就業推進大会



仲間を知らう！健康に過ごそう！！

*日時 7月12日(金)

10時~11時45分(開場9時30分)

*場所 スターピアくだまつ

2階展示ホール

*内容

1. 講演(2本立て)

「健康管理とケンシン」

【講師】下松市健康増進課

「高齢者の交通安全」

【講師】下松警察署

2. パネルディスカッション

ヒヤリハットに関して

3. 安全宣言

*対象 どなたでも

今年も開催します

「安全・適正就業推進大会!!」

皆様から大変ご好評頂いてますパネルディスカッションも今年に更に、楽しく興味深い内容を準備しております。仲間のことを知り、共感できるポイント盛りだくさん。以前のような大会ではありません。一人でも多くの人と学びたい。そんな気持ちで開催します。

昨年参加されていない方でも、大歓迎!!皆様お誘いの上是非ともご参加ください。

表紙に寄せて

下松市シルバー人材センターは、昭和62年7月に発足し、昭和・平成・令和と3元号に渡り、32年間発展・活動して参りました。

令和元年の定時総会も、皆様のご協力を持ちまして、無事開催する事が出来ました。

会員減少傾向にありますが、共に、協力し元気に働きやすい環境を目指して活動して行きたいと考えておりますので、宜しくご協力をお願い申し上げます。

編集後記

令和元年度定時総会が、国井市長始め、来賓の方々をお迎えし、盛大に開催されました。本年は、第三次中期基本計画がスタートいたしました。村上事務局長が、就任され、心機一転役職員一致協力して、シルバーの活動に邁進して行きたいと考えております。

『星のさと』は、更なる充実を図ると共に、読み易く、親しみ易い広報誌をめざし頑張つてまいります。

夏に向かい、益々暑い日が予想されますが、会員の皆様におかれましては、なお一層の、健康管理に努めて頂きたいと思っております。

広報委員一同

カメラポ

2/9 土

研修会 & 親睦会



懇親会では、大いに盛り上がりました。



「うそ電話詐欺」の寸劇で学びました。

3/15 金

未就業者共同作業



未就業の皆様による、共同作業が実施されました。



春の日差しを受け、快い汗をかきました。

4/24 水

『家事援助班総会』



全員そろって、ハイチーズ



パウダーアートの作品

総会終了後、パウダーアートに挑戦しました。

5/31 金

令和元年度 定時総会



多くの来賓の方に、ご挨拶を頂きました。議案説明中の村上局長



議案は、満場一致で、全て、承認されました。